

## 松戸市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の進行状況について

### 1 松戸市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の概要

松戸市全域から排出される温室効果ガスを削減するための計画である、松戸市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)では 2005 年度(平成 17 年度)を基準年度として、短期計画期間の 2020 年度(令和 2 年度)までに 11%以上削減、中期計画期間の 2030 年度(令和 12 年度)までに 20%以上削減することとしておりました。

以下に、2022 年度(令和 4 年度)の進行状況について報告します。

### 2 松戸市域の温室効果ガス排出量及び太陽光発電導入容量について

市内全域から排出される温室効果ガス排出量について、国から発表されるデータは表-1 のとおりでした。

表-1 松戸市域の温室効果ガス排出量[千トン]

2005 年度 (平成 17 年度)	2018 年度 (平成 30 年度)	2019 年度 (令和元年度)	2020 年度 (令和 2 年度)
3,313	2,749	2,636	2,624

※ 環境省ホームページより引用・加工

また、経済産業省資源エネルギー庁がホームページで公表している電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法(平成 23 年法律第 108 号)に基づく松戸市域太陽光発電導入容量については表-2 のとおりです。

表-2 松戸市域の太陽光発電導入容量[kW]

2018 年度 (平成 30 年度)	2019 年度 (令和元年度)	2020 年度 (令和 2 年度)	2021 年度 (令和 3 年度)	2022 年度 (令和 4 年度)
36,597	38,607	40,557	42,492	44,980

※ 数値は 3 月時点のもの

※ 経済産業省資源エネルギー庁ホームページより引用・加工。

### 3 まとめ

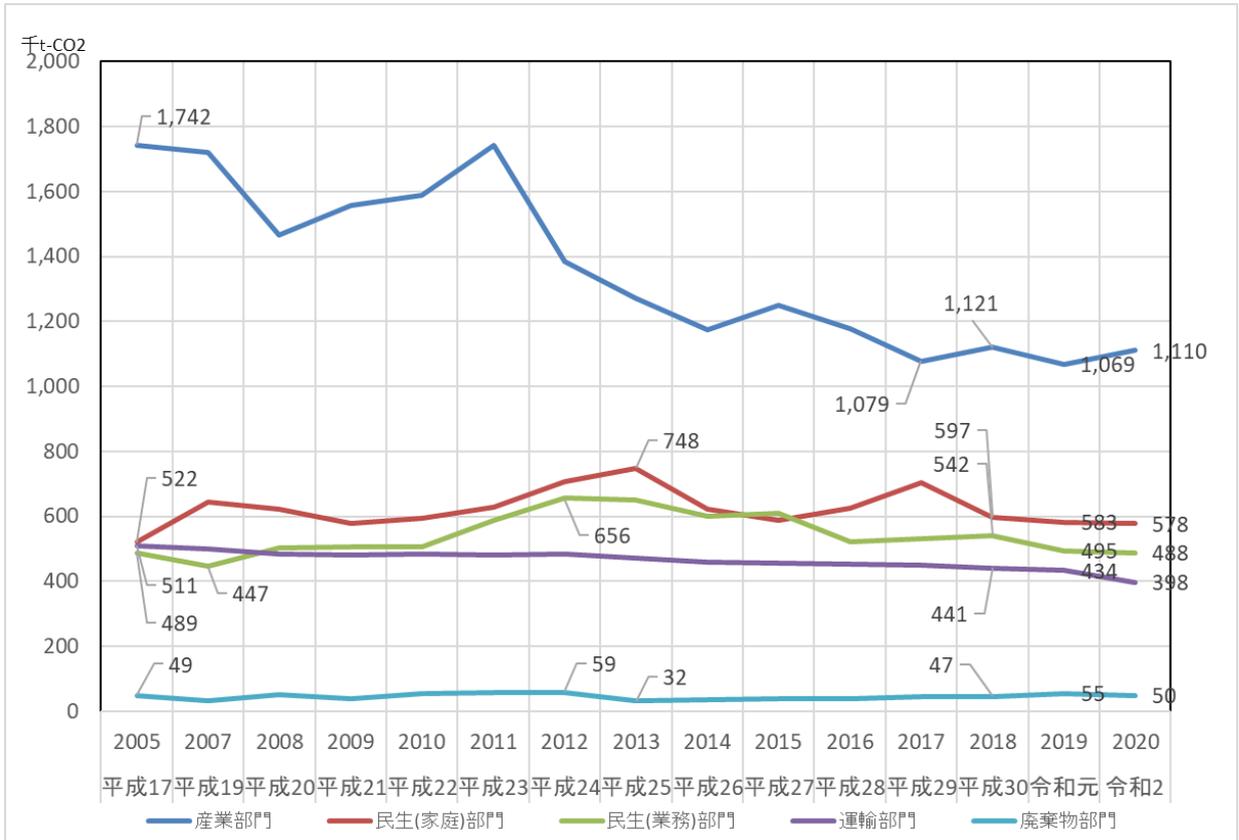
2020 年度(令和 2 年度)の松戸市域の温室効果ガス排出量は 2,624[千トン]となり、基準年度である 2005 年度(平成 17 年度)に比べて約 20.8%減少しております。

また、松戸市域の太陽光発電導入量も増加傾向であり、2022 年度(令和 4 年度)の温暖化対策実行計画(区域施策編)の進行状況は良好であると考えられます。

今後も、一層の排出量削減のため、省エネルギー及び再生可能エネルギーの普及促進、脱炭素型のまちづくりの推進等、目標達成に向けた施策を継続して実施することが必要です。

## 市域の二酸化炭素排出量について

### ・各部門の排出量の推移



### ・市域からの二酸化炭素排出量と太陽光の累積導入量

